

単
元
名

けんこうなぐらしをささえる

くらしとごみのしまつ

教科書出版会社名 (日本文教出版) 副読本 (わたしたちの茨木)

- 小学校 (4) 年 教科等 (社会)
- 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等でつけたい力)

ごみ処理の仕組みや再利用等について学び、ごみの処理やリサイクル等が人々の協力や努力によって計画的に行われることに着目して、廃棄物の処理のための事業を捉え、その事業が果たす役割を考え表現する力。また、学んだことからごみを減らすために自分たちにできることを考える力。

(学校図書館等の活用でつけたい力)

ごみに関連した図書を読み情報を集め、自分たちにできることを整理してまとめる力

- この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…図鑑や資料を活用し、必要に応じてタブレット端末で調べ情報を集める。
- 整理・分析…調べたことをプリントに書き出し、自分の考えを整理し、その考えが実現可能かどうかなどについて考える。
- まとめ・表現・発信…整理した情報をもとにポスターにまとめる。

- 学習の展開 (全 12 時間) (学校図書館等を活用した時間は☆印にて記入してください)
(単元の流れを簡潔に記入してください)

第1次 (2時間)	ごみ調べの見通しを持つ ・ごみについて考える。 (子どもたちが知りたい・調べたいと思う図書資料を意図的に準備しておく) ごみに関連した図書を読み、世の中にどのようにごみが出ているのかを知る。 ・世の中にはどのようなごみがあるのかを調べる。(☆) 毎日の暮らしの中で出るごみについて話し合い、何がごみになっているか意欲的に調べる。
第2次 (6時間)	ごみについて調べよう ・自分の家から出るごみについて、種類や量を調べる。 ・ごみの収集や処理の仕方について知る。(☆) ・環境衛生センターで働く人から話を聞く。 ・くらしとごみのつながりについて考える。 ・生まれかわるごみについて調べる。(☆)

第3次 (4時間)	自分たちにできることを考えよう ・ごみについて本や、資料を使って調べる。(☆) ・調べたことをもとに、ごみを減らすために自分たちにできることは何かを考え、ポスターにまとめる。
--------------	--

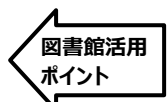
(本時 10 / 12 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい ・本を読み、必要な情報を抜き出す。 ・知ったことについて自分たちにできるかどうかを分析し、情報カードに整理する。

学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. 前時までの振り返りをする	自分たちの暮らしとごみはつながりが深いことを思い起こさせる。
10	2. 読む・調べる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> ごみを減らすために自分たちにできることを調べよう </div>	
20	・ごみの種類や環境問題など、自分が調べたい内容の本を選んで読む。 3. 整理してまとめる ・情報カードを書く ・読み取った内容と自分の考えは分けて書く。 ・読み取ったことをもとに、自分たちにできることをまとめる。	ごみに関連した本を1人1冊以上、事前に用意しておく。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 目次や索引を活用することや複数の資料を読み比べることを伝える。 さらに詳しく調べたいことが見つかった場合、タブレット端末を使用してもよいことを伝える。 </div> ・実現が難しいことではなく、自分たちで実現できそうなことに注目するように声かけする。
10	4. 交流・次回への見通し ・調べた内容や読んだ本について、班で交流する。 ・友だちの情報カードを見て、「さらに調べるとよいこと」「おすすめの本」などをアドバイスする。 ・次回さらに調べることをプリントに記入する。	・友だちの調べたテーマを聞いて、「読み手としてさらに聞きたいこと」「テーマに合いそうな本の紹介」のアドバイスができるように促す。



図書館活用
ポイント

けんこうなくらしをささえる

組 番 名前 ()

1. 本を読んで、学んだことを書きましょう。

ごみについて	水について
<p>ごみを自然やす理由は、1つ目は衛生的で、2つ目は小さくするからです。灰にすると大きさが減ります。</p>	<p>水は海の水になる。水の最初、山に降った雨だということ。せんざいや油などが川をよごすこと。</p>

2. 疑問に思ったこと、調べてみたいことを書きましょう。

ごみについて	水について
<p>材質のマークや商品の意味を表わすマークなどを調べてみたい。灰などでどのような物ができるか調べてみたい。</p>	<p>森の栄養がどうやってフロンタムになるか調べてみたい。海の水は、どうやって増えるのか調べてみたい。</p>

3. ふりかえり

- ①本を読んで新たに知ったり、疑問を持ったりした。(5 4 3 2 1)
- ②けんこうなくらしについて調べたいことができた。(5 4 3 2 1)
- ③友だちに学んだことを伝えることができた。(5 4 3 2 1)

ごみの少ない社会を目指して 情報カード

4年 組 番 名前 ()

①調べるテーマ

うめ立て場(最終処分場)について

②本を読んで調べたこと

調べてわかったこと	自分の考え
<p>うめ立て場は必要? しけんとして使えない物やはいがのころから必要。いっからできた? 日本では江戸時代から。うめ立て場はごみが多すぎて20年後にはなくなってしまう。ごみの上に土をたんでいくのをくり返してそうになる。日本の土地は小さいから山や海にできる。ごみしよりにかかるお金はみんなのせい金ではらう。</p>	<p>うめ立て場がなくならないために、ごみがなるべく出ないように山や海のせむが守れる。4Rを大切にするごみが入る。ごみの上に土をかぶせたら新しい土地として使える。ごみをへらせばごみしよりにかかるお金は入る。</p>

③参考図書(調べた本)

題名	出版社
なせ? かりき用いるごみとけんきょう	Gakken
せいそう工場	小峰書店
ごみとけいけんせいそう工場	

ごみの少ない社会を目指して

~自分たちにできること~

4年 組 番 名前 ()

リデュース(ごみを出さない減らす)の取り組み

リデュースとは、ごみを減らすことです。例えば、レジ袋ではなく、エコバックを使うことなど。家庭ではどんな取り組みができるでしょうか? 例えば、料理などは食べきれない分だけ入れ食品ロスをしないこと。なので、長く使える物を選び大切に使う!!

参考図書 本の題名(出版社)

Reduceリデュース...株式会社おかね書房

ごみの少ない社会を目指して

~自分たちにできること~

4年 組 番 名前 ()

ごみをすくなくしょう!!

愛知県では1年かんに出るごみが約東京ドーム119はい分4432万トンくらいある。愛知県のさしうめたて場は20年でまんぱんになる!! 自分が思ったことは、ごみをすくなくするとうめたて場所が長くつかえるから、ごみをすくなくするよりよくしたいと思った。

参考図書 本の題名(出版社)

ごみゼロ大作単元
ごみってどこから生まれるの?(ポプラ社)